



イエス・キリスト、 せいさんとおいのりに ついておし教えられる

だい45しょう



イエス・キリストはでしたちに、パンとぶどうしゅをとりに行かせられました。そして、ニーファイ人じんたちにじめんいにすわるようにい言われました。(3ニーファイ18：1-2)



でしたちがもどってく来ると、すくいぬしはパンをさいて、しゅくふくし、でしたちにあたえられました。それからでしたちにめいじひとで、人びともおあたえになりました。(3ニーファイ18：3-4)



イエスはおっしゃいました。せいさんをうける人ひとびとは、わたしとわたしのはらったぎせいをいつもおぼえるとやくそくします。そうすると、みたまをうけるでしょう(3ニーファイ18：7)



イエスはぶどうしゅをしゅくふくして、でしたちにあたえられました。でしたちは、人ひとびともぶどうしゅをあたえました。(3ニーファイ18：8)



「せいさんをうける人ひとびとは、わたしのいましめをまもることをやくそくするのです。」(3ニーファイ18：10)



イエスはふたたび、こうやくそくされました。「せいさんをうけ、いつもわたしをおぼえているならば、わたしのみたまをうけるでしょう。」(3ニーファイ18：11)



「わたしのいましめをまもるならば、あなたがたはさいわいです。」(3ニーファイ18：14)



「つねにいのりなさい。わたしがしたように、あなたがたもいのりなさい。」(3ニーファイ18：15—16)



それからすくいぬしは、ニーファイ人^{じん}にむかって、言^いわれました。「わたしの名^なによって天^{てん}父^ふにいのりなさい。かぞくとともにいのりなさい。」(3ニーファイ18：19, 21)



「しばしばもにつどいなさい。来る人^{ひと}はよるこんでむかえなさい。その人^{ひと}たちのためにいのりなさい。よいもはんをしめしなさい。」(3ニーファイ18：22—24)



すくいぬしはでしたちに、せいれい^{ちから}をさずける力^{ちから}をおあたえになりました。その時^{とき}雲^{くも}が人^{ひと}びとをおおったので、でしたちだけが、イエス・キリストが天^{てん}にのぼって行^いかれるのを見^みました。(3ニーファイ18：36—39)